


# 環境学習のステップアップ・ワークシート

団体名	東松山市立新宿学校
実施日	令和元年7月5日
実施時間	約2時間(午前中)
実施場所	学校体育館
参加者	小学6年生と教諭
参加者数	約80名
講座・授業名	市野川の生き物調査と3河川水質検査
講師	環境アドバイザー 渡辺仁、山本正史

アドバイザーのねらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校近くを流れる市野川に住んでいる生き物の種類や生態について、生き物に触れ、自分で考えながら、知ってほしい。</li> <li>・晴天時は、河川敷の現場で直接生き物展示し、雨天の場合には、校内体育館にて水槽展示をおこなう。</li> <li>・近隣河川の水質を自分たちで確かめ、水質や川の汚れの原因を知ってほしい。</li> </ul>


学習者の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川で遊んだり、生き物に直接触れる機会が減少しつつある中、体験型の理科総合授業や水槽での生き物の飼育を通じ、市野川の生き物への理解を深めている。</li> <li>・本学年の児童は、第3学年時に市野川にて川遊び体験を行っている。また、第5学年時には近隣に生息する野鳥の観察や記録を行っている。</li> </ul>

この事例に関する主なSDGs		

取組内容
<p>1</p> <p>アドバイザーが事前に市野川で採集し、水槽に入れた生き物に子供たちが実際に触れながら、生き物の名前を調べる。その後、子供たちが全員の前で発表し、アドバイザーの解説を受けながら、生き物の種類、生態を確認</p> 

工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループ(生き物と水質汚濁)に分け、アドバイザー2名、補助者3名が生き物に触ってみよう促し、子供たちが関心を示すタイミングに合わせて説明することで、発見や学びを手厚くサポート。</li> <li>・子供たちが図鑑と水槽の生き物を照らし合わせて生き物の名前を確認し、それを全員の前で発表することで、自ら考える機会を作る。</li> </ul>

学習者の反応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽に顔を近づけたり、入っている生き物に触ったりして、時にはキャーと声をあげながら、図鑑と見比べながら、楽しそうに生き物を観察。</li> <li>・バツと手を挙げて、生き物の名前を発表。</li> <li>・五感を使って実感を伴い生き物に触れ合えた。</li> <li>・身近な河川にこんなにも多様な生き物が生息していることを知ることができた。</li> </ul>

学習の効果&主に育まれる力
<p>【体感する力】【探究する力】【理解する力】</p> <p>五感を通じ、近隣河川の生き物の種類や生態を知る</p> 

2	<p>河川をめぐる社会状況の変化に関する説明や近隣3河川(市野川、都幾川、滑川)の水質検査を通じて、近隣河川の水質や汚れの原因を知る。</p>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード、地形の立体地図、埼玉県河川水質図を使用し、子供たちの関心を引き出す。</li> <li>・クラスごとに3河川それぞれについて水質検査し、主体的に調べてもらう。その結果を一覧にし、みんなで共有し、解説することで理解を深める。</li> </ul>
--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に立体地図に近づき、説明された内容を確認する子供もいた。</li> <li>・身乗り出して、水質検査を実施。</li> <li>・パケットにより、河川によって水質が違うことを発見できた。</li> </ul>
--

<p>【理解する力】【探究する力】</p> <p>水の色の変化を目の当たりにすることで、自分たちの生活が川の水質に影響を与えていることを理解する</p>
--

3	<p>学校での振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市野川で採集した生き物を校内の水槽で飼育し、生き物への関心を高めるとともに、理解を深める。</li> <li>・県みどり自然課より認定された「野生の生き物とふれあう学校指定」(5年生の水鳥パードウオッチング)も環境学習として継続していく。</li> </ul>
---	--

<p>教員の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育委員会を中心に、生き物の飼育ができる環境設定を行った。</li> <li>・環境アドバイザーと協力し、児童の活動内容を精選し、児童にとって体験を重視した。</li> </ul>
---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・図鑑や画像ではなく、実際に触れたりにおいをかいだりすることで、川の生き物についてより具体的に理解することができた。</li> </ul>
--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の生き物、川の水質について理解し、自分の生活環境を振り返ることができた。</li> </ul>
--



みんなで水質検査



川の汚れの原因を学ぶ

成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣河川の生き物や水質に興味や関心を持ってもらえた。</li> <li>・今回採集した生き物を校内の水槽で飼育し続けることで、環境について引き続き関心を持ってもらうことができる。</li> </ul>

学習者の変容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって身近な市野川での学習から、より自然環境に対する興味関心が高まった。</li> <li>・川の生き物のおいやすわりごちから、水の中で生きていくことに、ついてじっくりと考えを深められた。</li> </ul>

